

正しく 明るく 健やかに

第2号

目をあわせ・自ら・笑顔で・誰にでも

校長 古館 満根



新緑のまぶしい季節となりました。品野中学校の校門付近も新緑で囲まれ、とくに晴れた日の朝は鳥のさえずりをたくさん聞くことができ、すがすがしさが一層高まります。一番に登校する生徒は始業の40分前くらいに校門坂を上ってきます。そこから30分間、校門付近、昇降口付近では「おはようございます」が溢れます。

先日、いつも品中生を見守っていただいている地域の方とお会いする機会があり、数日前の出来事を話してくださいました。車を運転して駐車場から公道に出るとき、歩道を歩いてきた生徒（品中生）に気づいて一旦停止すると、その生徒はきちっと会釈をして急いで車の前を渡ったそうです。そして、渡り終えた後、振り返って改めてお辞儀をしたそうです。そのときのことをとてもうれしそうに話してくださいました。そして、今年度も生徒の皆さんが、とても挨拶がいいと褒めていただきました。挨拶の極意、「目をあわせ・自ら・笑顔で・誰にでも」。これができるはじめて挨拶。今回も、熱く話してくださいました。

【目をあわせ】考えてみると、人とのコミュニケーションは、目をあわせるところから始まるのだと思います。「アイコンタクト (eye contact)」という言葉もよく耳にしますが、その意味は、「視線を合わせること。特にサッカーなどのスポーツで、次のプレーの意思表示として選手どうしが行うもの。」とされています。「目は口ほどにものをいう」とよく言われるだけあって、非言語コミュニケーションのひとつとされています。【自ら】挨拶されてからの挨拶は返事の要素が大きく、自主的に相手よりも先に行くことでその質が高まります。【笑顔で】笑顔、気持ちいいものです。笑顔は人にエネルギーを与えます。マスクをしていても、その笑顔ははっきりわかります。目が物語っています。【誰にでも】誰にでも分け隔てなくできる挨拶、この姿勢が大切で周りの人たちとの関係を確実に深めていきます。

挨拶、社会人として求められる大切なコミュニケーション能力、培ってほしい力です。